

まこと通信

福岡県議会議員



一般質問

汚水処理・浄化槽整備の促進を 知事「田川市計画を評価する」

2月議会では、本県の汚水処理の推進、とりわけ合併浄化槽推進への取り組みについて知事に質問しました。

家庭の汚水処理をしっかりと行うことは、地域の河川の浄化にも大きく貢献するものであり、その推進は急務です。本県の汚水処理人口普及率は9割を超えている一方、田川地域では県平均の半分程度と低く、全人口のうち半数以上の家庭では汚水が未処理のまま河川に流れている現状があります。

また、田川地域では公共下水道が整備されていませんが、今から新規に下水道を整備することとなれば、多額の負担がかかり田川市では財政破綻の原因にもなりかねません。そのため、田川市は市内全域を合併浄化槽によって汚水処理する方式に転換し、今年4月から新しい補助制度を導入する予定です。

この田川市の取り組みについて、知事の評価を質問しました。知事からは「市独自で大幅に補助を拡充する取り組みは、浄化槽の整備に弾みをつけ、福岡県汚水処理構想における田川市の目標達成に寄与する」と評価した上で、補助については「浄化槽の設置予定数を踏まえて、その整備に支障が生じることがないように、必要な予算の確保に努める」と述べました。



2016年度末 汚水処理人口普及率

福岡県全体	91.53%	川崎町	29.90%
田川市	60.30%	大任町	34.45%
香春町	65.59%	赤村	45.59%
添田町	32.28%	福智町	32.58%
糸田町	36.44%	田川市郡平均	46.28%

個人設置型浄化槽の 維持管理強化を明言

一方、個人設置型の浄化槽の場合、その維持管理は、個人が責任をもって行うこととされ、浄化槽法第11条に定められた年1回の法定検査を受けるほか、保守点検、そして清掃を行うことが法律で義務付けられています。

しかし法律に違反して、維持管理や清掃を行っていない方が増えており、指導監督権者である県の指導も行き届いていないという声も聞いています。

知事からは、「義務である検査を3割近くが未受検となっている。市町村や関係団体と連携しながら、実態把握を徹底するとともに、必要に応じて改善命令を発出するなど適正管理に関する指導を強化する」と答弁がありました。

「浄化槽できれいな川に」



合併浄化槽の清掃・点検をしている様子

田川市の新たな補助制度

くみ取り便槽・単独処理浄化槽 から合併浄化槽への転換に 手厚い補助

新制度でどう変わる?

上乗せ補助金
最大50万円

5人槽の場合、現在の補助金33.2万円に上乗せされ、83.2万円が補助されます。

上乗せ補助金
10年間 継続

5年間は50万円、6～8年目は30万円、9・10年目は10万円が上乗せされます。

すべての建物が
補助対象

店舗や公民館、アパートなどの専用住宅以外の建物も補助対象です(10年間限定)。

※具体的な条件や金額など、補助制度の詳細は汚水処理対策室(☎85-7160)に問い合わせください。

国道整備

国道 322 号香春大任バイパス 2020 年 3 月開通へ

長年、工事が進められている国道 322 号線の香春町から大任町、川崎町へ抜ける「大任・香春バイパス」が、2020 年 3 月をめどに開通する予定となりました。

国道 322 号バイパスの田川地域路線は、香春バイパス 2.6 キロ、田川バイパス 7.3 キロは既に開通しているものの、香春大任バイパス 10.5 キロはほとんどが未開通の状況です。

工事が遅れた最も大きな要因は、土地取得が遅くなったことですが、このほど土地取得も完了し、一気に工事が進むようになりました。今年度も 25 億円を計上し、工事が進められています。

私も、県議会では県土整備委員会の委員として 4 年間携わり、地域のインフラ整備促進に、しっかり汗を流してきました。国道 322 号線香春大任バイパスの早期開通に向けても、しっかり対応していきたいと思います。

また、開通に伴って、通行量も一気に多くなることが予想されますし、市内の幹線道路の流れも変化することが確実です。通学路の安全整備についても、田川市役所と連携をとりながら、進めていきます。

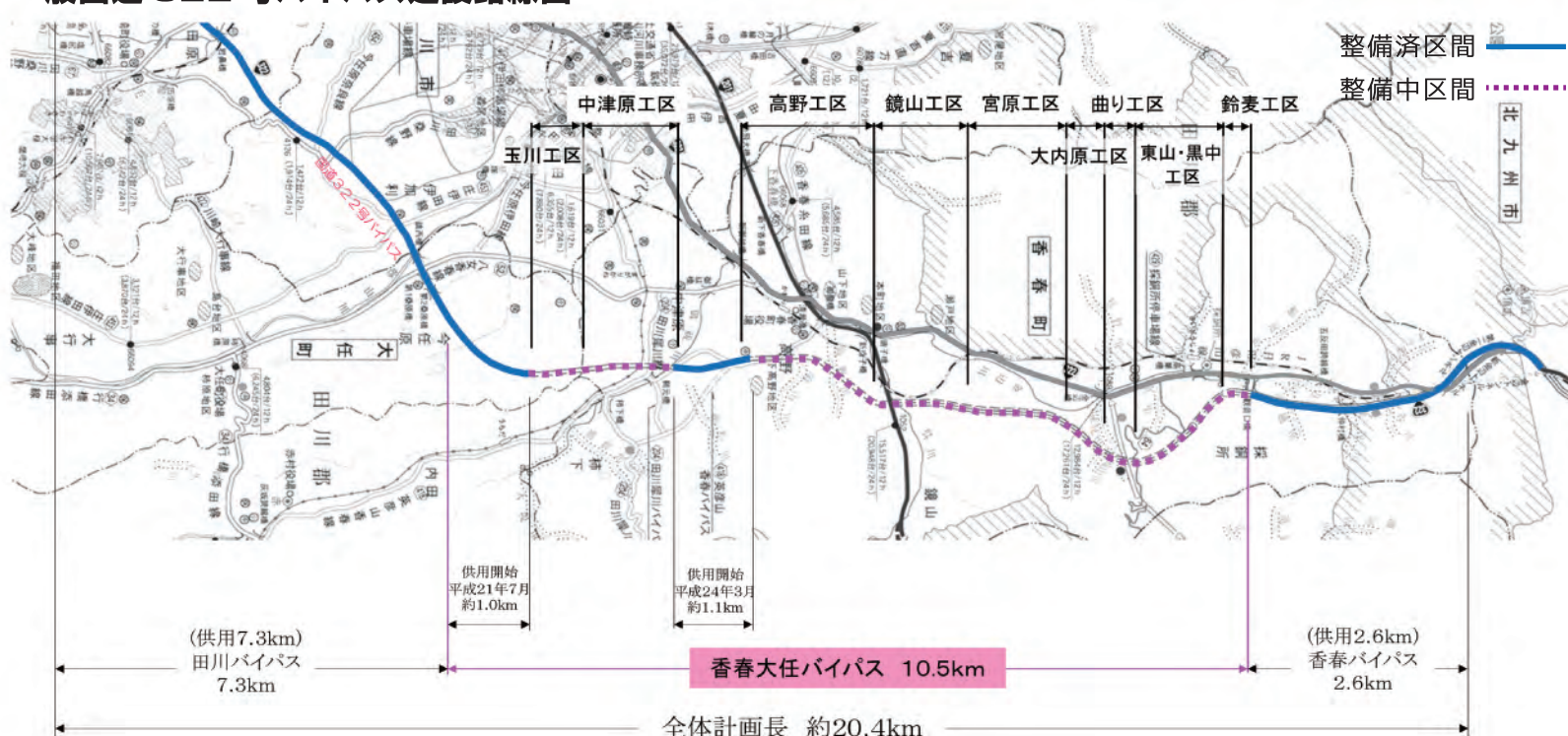
香春町高野地区



香春町宮原地区



一般国道 322 号バイパス建設路線図（田川県土整備事務所管内）



インフラ 整備

八木山バイパス 4 車線化 国交省事業候補に選定

篠栗町と飯塚市を結ぶ国道 201 号八木山バイパス (13.3 キロ) の 4 車線化について、国土交通省は 3 月、新年度予算の新規事業化候補に選定したことを発表しました。

現在 2 車線で通行していますが、2014 年 10 月に無料化して以来、交通量がそれまでの 1 日 1 万 3 千台から、2 万 7 千台と 2 倍以上になり、事故や渋滞が慢性的に続き、大きな問題となっていました。

今後、国土交通省は、県や学識経験者などによる第三者委員会の意見を聞いた上で、最終的な事業化の決定を行う予定です。

私も、福岡県議会八木山バイパス 4 車線化推進議員連盟の会員として、何度も国に陳情を行い、4 車線化の早期事業化を訴えてきました。引き続き、早期事業化に向け活動を行っていきます。



昨年 3 月、国へ八木山バイパス 4 車線化の陳情を行っている様子

八木山バイパス 4 車線化までの流れ



建設職人 基本計画

建設職人安全・健康確保計画 今年度策定へ

佐々木の一般質問から策定へ実を結ぶ！

建設業は、他の業種に比べて労働災害事故が多く、全業種の中で死亡事故が最も多く発生しています。災害撲滅に向けて取り組みを抜本的に変えていくために、国は2017年3月「建設職人基本法」を施行し、その推進のために基本計画を策定しています。その中、都道府県においても、基本計画をもとに県計画の策定が求められています。

私も、昨年県議会で、建設職人基本法に基づく福岡県計画の策定を求め、知事も策定を行うことを明言。そして、このたび県計画案が発表されました。

また、策定に当たっては建設職人の団体である「福岡県建設労働組合」の参画も実現し、実効性のある計画作りが進められました。

パブリックコメントの後、3月末には計画が決定する予定です。

福岡県における建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する計画（案）

基本の方針

- 1 適正な請負代金の額、工期の設定
- 2 設計、施行等の各段階における措置
- 3 安全及び健康に関する意識の向上
- 4 建設工事従事者の処遇の改善及び賃金の向上

施策の方向（概要）

- 1 安全経費等の明確な積算、安全と健康に配慮した工期の設定
- 2 建設業者間の連携推進、一人親方等の安全及び健康の確保等
- 3 工事現場の安全性を確保した上での設計、省力化、点検の推進
- 4 安全衛生教育の推進、意識啓発に向けた自主的取組の推進
- 5 社会保険加入徹底やキャリアアップ、働き方改革の推進
- 6 労働安全衛生法令の遵守徹底、転落災害防止対策の充実強化

政治を 身近に

議員インターンシップ 北九州市立大学から3名受け入れ

25歳で市議会議員に初当選して以来、年に2回、計23回にわたり、議員インターンシップ（大学生が政治を学ぶに由来する教育プログラム）の受け入れ議員になっています。今回も北九州市立大学から3名の学生が学びに来ています。

若者と政治は、まだまだ身近ではない部分もたくさんあります。しかし、安保法制反対運動など、若者がその役割を担う政治運動も大きく前進しようとしています。

政治と若者が身近になり、また政治の担い手になってもらえるような人材をつくっていけるよう、頑張りたいと思います。



2019年春の議員インターンのメンバーと

新春の 集い

「佐々木まことを囲む新春の集い」 企業・後援会関係者 500名参加

毎年開催している「佐々木まことを囲む新春の集い」を今年も、2月12日ブリティッシュヒルズで開催しました。二場公人市長をはじめ、田川市郡すべての市町村長・議員関係者・区長会・商工会議所・農協・市内外企業・後援会関係者など約500名の方にご参加頂きました。

私は、あいさつの中で「田川地域の活性化を、県政の力で押し上げたい。立場や違いを乗り越えて、市域の枠組みをこえた活動ができる県政の力を生かし、多くの人とつながりあえる県議会議員として、期待に応える活動と結果を皆さんにお示ししたい」と訴えました。



政務活動報告

2.2 猪位金地区 県政報告



地域の皆さんの声は、どれも切実で考えさせられるもの。また、たくさんの声援は、心の支えになります。

2.14 街頭演説(夕方)



日中の県議会を終えてからは、街頭演説や地域回りに奔走しています。空いた時間を縫うような活動が続きます。

2.19 朝の挨拶



日中は県議会へ向かうため、市内の交差点で朝のご挨拶を行っています。多くの皆さんから声援をいただき、元気をもらいます。

2.25 白鳥町区 市政県政報告会



白鳥町区主催の市政県政報告会に二場公人市長と一緒に参加。様々な意見交換をすることができました。

2.5 夏吉地区 県政報告会



夏吉地区では、県道の歩道整備や田川直方線バイパスの延伸に向けた対応など、県政に関わる分野を中心にお話しました。

2.16 鎮西校区 後援会結成総会



連合後援会に、14組織目となる後援会が発足。全ての中学校区に後援会が発足しました。各校区毎に様々な取り組みを行っていく予定です。

2.21 県議会2月定例会 最終日



4年間座ったこの議席も、この日が最後。議会後の交流会では、多くの同僚県議と一緒に4年間の活動を振り返りました。

2.28 JA 田川直売所 「来てみんな・かながわ」挨拶



皆さんにご挨拶。福岡農政連の推薦も頂き、農業振興に全力を挙げて取り組むこととお約束しました。

2月活動報告

- 1 終日企業・地域回り
- 2 田川ライオンズクラブ三遊亭歌之介独演会
猪位金地区県政報告
- 3 節分祭り / 地域回り
- 4 地域回り
龍谷大学校友会北豊支部役員会 (北九州市)
- 5 地域回り / 夏吉地区県政報告会
- 6 県議会本会議 (福岡市)
- 7 県議会会派政策審議会 (福岡市)
労働金庫田川支店囲碁大会 (飯塚市)
- 8 県議会会派政策審議会 (福岡市)
- 9 地域回り / 和の会新年会 (福智町)
- 10 終日地域回り
- 11 地域回り
平和憲法をいかす会第14回定期総会
- 12 県議会本会議 (福岡市)
連合後援会主催「佐々木まことを囲む新春の集い」
- 13 県議会本会議 (福岡市)
県議会意見書等調整会議 (福岡市)
福岡県労働政治懇談会 (福岡市)
- 14 県議会本会議 (福岡市)
県議会意見書等調整会議 (福岡市)
- 15 県議会本会議 (福岡市)
県議会意見書等調整会議 (福岡市)
- 16 地域回り / 鎮西校区後援会結成総会
陸上自衛隊飯塚駐屯地「市民と自衛隊との音楽の夕べ」 / 田川市社会福祉大会
- 17 地域回り
千葉加代子川崎町議事務所開き (川崎町)
- 18 県議会県土整備委員会 (福岡市)
- 19 地域回り
県議会政策審議会 (福岡市)
城山町県政報告会
- 20 地域回り
県庁陳情活動 (福岡市)
- 21 県議会本会議 (福岡市)
連合福岡田川地区連絡会労働行政懇談会
- 22 地域回り
- 23 北山隆之市議事務所開設式典
尾崎行人市議事務所開き
- 24 終日地域回り
- 25 地域回り
白鳥町区市政県政報告会
- 27 JA たがわ管理職会議挨拶 / 地域回り
- 28 地域回り / JA 田川直売所「来てみんな・かながわ」挨拶

第43回 弁護士による 無料法律相談開催

担当弁護士：田川市役所前法律事務所 森竹 卓郎弁護士

どんな相談でも大丈夫です。お気軽にご相談ください。



開催
日程

3月27日(水) 17:00～
(1回30分程度)

佐々木まこと事務所にて
※ご希望の方は3月25日(月)までに事務所までご一報下さい

ご予約
連絡先

0947-85-9015

佐々木まこと事務所

〒825-0002 田川市伊田4510-6

tel 0947-85-9015

fax 0947-85-9007



佐々木 まこと

検索

ホームページ



LINE

